

# カラー透水性アスファルト舗装

耐久性に優れたエポキシ樹脂と  
特殊粒径の骨材による混合物にて表面処理



# 次世代の透水性舗装 ポーラス・ファイン Fine

骨材飛散なし

滑りにくい

色鮮やか

目詰まりなし

## ポーラスアスファルト舗装の耐久性能

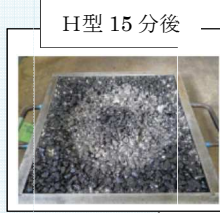
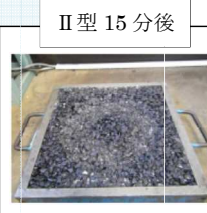
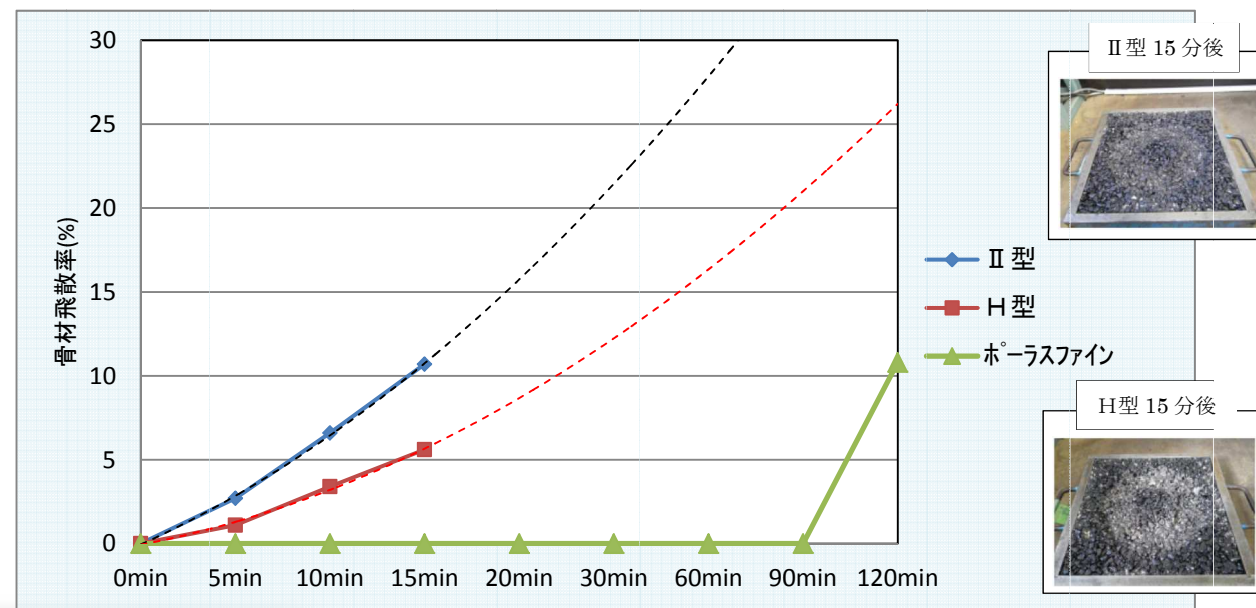
近年施工量が増加してきたポーラスアスファルト舗装では、骨材飛散やポットホールなどの従来の密粒度アスファルト舗装にはない特有の破損が見られていました。また、交差点など車のタイヤによるねじれや水平せん断力が作用する箇所では、ねじれや水平せん断力に対する抵抗力が不足し、施工後短期間で骨材が飛散する例が見受けられていました。これらの破損原因として、骨材間の結合力が失われて飛散しているものが大半を占めていることが分かってきました。透水性舗装は駐車場に使われることが多く、タイヤの据え切りによる骨材飛散が問題となっています。

## 次世代の透水性舗装『ポーラス・ファイン』

ポーラス・ファインは特殊樹脂混合物による表面処理により、路面のカラー化とポーラスアスファルト舗装で問題となっていた骨材飛散の抑制が可能となりました。

## 改質アスファルトII型、H型を上回る骨材の飛散抵抗性

タイヤのねじれに対する抵抗性



### 【ねじり骨材飛散試験】

試験機の種類: タイヤ旋回タイプB、載荷荷重: 490N(接地圧 0.43MPa)  
(2t 車に相当)、バカタイヤφ200°W65 リブラグパターン、テーブル回転数 10.5  
回/min、走行半径 7.5cm、試験温度 50±2°C

【舗装性能評価法別冊】(必要に応じ定める性能指標の評価法編)平成20年3月道路協会 抜粋

ねじり骨材飛散の基準値の考え方: 基準値は定まっていないが、しきい値として試験時間 120 分試験温度 50°Cの状態での骨材飛散率 20%以下を基準値とすることが考えられている。

## 透水性舗装を満足する透水機能

透水係数

1.70E-4m/s=1.70×10<sup>-2</sup>cm/s (定水位)

(透水性舗装の透水係数 1×10<sup>-2</sup>cm/s)※

連続空隙率 13.6% (ノギス法)

(透水性舗装の空隙率 10%以上)※

※透水性舗装の必須条件



## 高い滑り抵抗性

すべり抵抗試験



すべり抵抗値 wet=70

(性能規定)

一般道 60 以上

自転車道・歩道 40 以上

## 施工後の透水機能

現場透水量試験



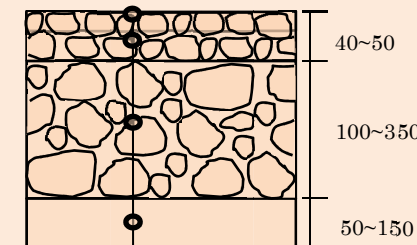
浸透水量=1213ml/15sec

(性能規定)

車道 1000 以上

歩道 300 以上

(舗装断面例)



カラー樹脂表面処理

ポーラスアスファルト混合物(13)

ポリマー改質アスファルトII型

砕石路盤

フィルター層

(施工要領)

- ①フィルター層、砕石路盤およびポーラスアスファルト混合物(13)を敷き均し転圧します。
- ②ポーラスアスファルト混合物(13)はポリマー改質アスファルトII型を用い、目標空隙を20%に設定します。
- ③ポーラスアスファルト混合物(13)を舗装後、表面の空隙にカラー樹脂混合物を漉り込み圧着させます。
- ④カラー樹脂表面処理後、数時間で歩行可能ですが、車両の通行は翌日となります。





快適空間を創出する

# ポーラス・ファイン

カラー透水性アスファルト舗装



写真の色調は実際と異なることがあります。

雨水貯留浸透施設にご活用ください

許可にあたっては個別に各地区にて許可申請を行ってください

クールベーブ工法協会 <http://coolvave.jp/>

# Porous・Fine